

平成28年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 33

学校名 千葉県立船橋法典高等学校

課程名 全日制の課程

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校経営	1 教育活動のさらなる充実によって「信頼される学校づくり」を目指す。	① 広報係を中心に「ホームページ」「学校案内」「一校1キラッ！」等による学校情報の発信に努め、「 ホームページ 」は 適宜更新する 。 ② 若手モラルアップ委員会をさらに活性化して、職場環境の向上と不祥事防止に努める。 ③ 中学校訪問及び範囲を拡大して参加している中学生対象説明会等において、本校の将来像について具体的に説明する。 ④ 自己啓発指導重点校のこれまでの成果を継続・発展させる「きめ細かな指導」をさらに徹底する。	① 「学校案内」「一校1キラッ!」「ホームページ」の成果物、及び「 ホームページ 」の 更新状況 ② 委員会活動の回数と内容 ③ 学校説明会への参加人数 ④ 学期末及び学年末成績会議資料
	2 共通理解と情報の共有化に基づいた校務遂行体制を確立する。	① 教科会議・学年会議・分掌会議を定例化して学校の課題の明確化及び解決方策について共通理解を図る。 ② 「学年主任連絡会議」を行う。 ・管理職と学年主任 ・月1回、生徒情報の報告と共有 ③ 年度当初、校長による主任・部長との面談を実施し、学年・分掌・教科の当面する課題の聴取等を行う。 ④ 連絡・報告系統を確立・確認する。 ・各部署⇒教頭・事務長⇒校長 ⑤ 校長による「授業参観」を実施し、教員とのコミュニケーションを図る。	① 開催回数と内容 ② 開催回数と内容 ③ 実施状況と内容 ④ 情報集約者(教頭)の自己評価 ⑤ 実施状況
	3 不祥事が絶対起さない職場づくりを行う。	① 管理職と教職員及び教職員同士のコミュニケーションを活発にするため、各種面談、授業参観、校内巡視等を行う。 ② 法令遵守意識を涵養するため、新聞記事や事例に基づいた具体的情報提供や指導を徹底する。 ③ 開かれた学校経営のために「開かれた学校づくり委員会」や地域(自治会・青問協)との連携を強化する。 ④ 教職員の心身の健康管理状況を把握し、必要な指導及び助言を行う。	① 実施回数等実施状況 ② 情報提供回数、指導回数 ③ 連携の頻度(集まり等の回数) ④ 職員のストレスチェックや衛生委員会等の実施状況
	4 今後の教育活動のさらなる充実・発展を目指した計画の策定と段階的实施。 (重点目標5)	① 「将来計画検討委員会」において、「自己啓発指導重点校」としてのこれまでの取組みの成果と実態を踏まえた教育活動の充実・発展を目指す具体的な本校将来計画を策定する。 ② 策定された将来計画を、段階的に順次実施する。	① 委員会の実施回数と策定原案 ② 策定内容と段階的な実施の時期

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学習指導	<p>基礎・基本の定着を図る指導を充実させ、生徒一人ひとりの学びに向き合う姿勢を高める。</p> <p>(重点目標2)</p>	<p>① 少人数展開を活かしたきめ細かな指導によって「学びなおしができる授業」「わかる授業」を行い，“学ぶことの楽しさ”に気付かせる。このことについての生徒による授業アンケートを行う。</p> <p>② 授業公開や研究授業を実施して指導内容及び指導方法を工夫・改善する。</p> <p>③ 「朝自習」の充実等によって自学自習の態度を育成するとともに、基礎学力を向上させる。</p> <p>④ 校長による「授業参観」で生徒の実態把握と授業者への指導助言を行い、授業研究・授業改善の雰囲気醸成する。</p>	<p>①「学校評価」アンケートのうち、生徒による授業評価の満足度 85 % 以上</p> <p>②授業公開，研究授業の回数，指導案の内容</p> <p>③教材進捗状況，達成度テスト</p> <p>④指導・助言の内容</p>
生徒指導	<p>生徒の基本的な生活習慣を確立し，規範意識の定着を図る。</p> <p>(重点目標1)</p>	<p>① 全職員が共通理解のもと，生徒一人ひとりを大切にすきめ細かな生活指導を展開する。</p> <p>② 教育相談機能を活かし，家庭等と緊密に連携した生徒理解に努める。</p> <p>③ 特別支援の観点から踏まえて，生徒個々の実態に合った適切な指導を行う。</p> <p>④ 学年室体制を充実させ，家庭との連携を密にして指導にあたる。</p> <p>⑤ 生徒指導部を中心に，一斉指導，各種カード指導を継続して行う。</p> <p>⑥ 生徒昇降口での登校観察を行う。</p> <p>⑦ 遅刻・欠席・早退の実態把握と家庭連絡等管理を徹底する。</p>	<p>①「学校評価」の生徒アンケート及び保護者アンケートの結果</p> <p>②生徒個人面談，保護者面談，教育相談等の実施状況</p> <p>③把握した事例の指導内容</p> <p>④～⑦ 遅刻・欠席・早退，指導等各種集計結果</p>
キャリア教育	<p>生徒の健全な職業観・勤労観を育成する。</p> <p>(重点目標3)</p>	<p>① 学年と進路指導部が協働し，生徒一人ひとりの能力・適性，興味関心や進路希望に応じたきめ細かな進路指導とキャリア教育を，3年間を見通し計画的・継続的に実践する。</p> <p>② 進路ガイダンス（外部講師による分野別ガイダンス，卒業生を講師とした就職ガイダンス）や職場体験を通して健全な職業観・勤労観を育成する。</p> <p>③ 企業訪問によって情報収集や進路先確保を行う。</p> <p>④ 個別相談を充実させる。</p>	<p>①「学校評価」アンケートの結果</p> <p>②進路ガイダンスの具体的な実施状況，及び卒業生の就職率・定着率</p> <p>③求人企業数</p> <p>④就職内定率</p>
特別活動	<p>学校行事等特別活動及び部活動を充実させる。</p> <p>(重点目標4)</p>	<p>① 学校行事における事前・事後の指導を充実させることによって当該行事の意義を理解させ，自ら積極的に関わろうとする態度を育成する。</p> <p>② 生徒に自主的活動の機会を提供する部活動の加入率及び定着率を向上させる。</p> <p>③ 生徒の努力の成果を認め，達成感を与え，自信を持たせる支援と指導を行う。</p>	<p>①事前・事後指導の有無・内容</p> <p>②部活加入率</p> <p>③部活動定着率</p>